

# 平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	分野(章)番号	4
政策名(項)	道路課環境の整備	政策(項)番号	I
施策名(目)	適正な維持管理	施策(目)番号	④
担当課	建設課	担当課長	門間 博

## 1. 施策の基本方針

施策目的	・道路及び河川について、適正な維持管理を行い町民が安全・安心で快適に暮らせるまちづくりを目指す。
------	--

## 2. 施策の現状分析

施策の概要	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境、国・県の動向等)							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の陥没等の補修要望が増加している。</li> <li>・山間地の除雪を早くしてほしい。</li> <li>・道路愛護団体の高齢化が進み、今後の活動が懸念される。</li> <li>・河川・堤防の除草範囲を延長してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の国道及び県道の路肩除草については、業者に委託して実施しているが、町道等については、一部を業者に委託しているが、殆どを各地区の道路愛護団体に依頼している状況である。しかし、近年の高齢化に伴い道路愛護団体に依頼している除草範囲が維持できるか心配である。</li> <li>・東日本大震災で被災した沿岸部の地域に町内から砕石及び山砂を搬出するため、毎日延べ数百台の大型ダンプトラックが町道等を通行しているため、舗装の傷みが著しい状況である。</li> </ul>							

  

施策指標(成果指標)	指標の内容	達成度(上段:目標 下段:実績)							備考(他団体状況含む)
		H23	H24	H25	H26	H27	H27目標		
主要	道路補修要望対応率	目標			100%	100%	100%		
		実績	99%	97%	98%			100%	
		達成率			98%				
参考①	道路パトロール回数	目標			619回	610回	620回		
		実績	601回	619回	605回			620回	
		達成率			98%				
参考②	橋梁補修件数	目標			2件	2件	2件		
		実績	1件	2件	2件			2件	
		達成率			100%				
参考③		目標							
		実績							
		達成率							
参考④		目標							
		実績							
		達成率							

## 3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		25,177千円	25,611千円	28,234千円	35,075千円	29,996千円	30,091千円
財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	一般財源	25,177千円	25,611千円	28,234千円	34,859千円	29,996千円	30,091千円
従事者数	正職員	4.26人/年	3.76人/年	3.59人/年	3.91人/年	3.91人/年	3.91人/年
	臨時職員	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年
人件費	正職員	28,683千円	25,640千円	24,373千円	26,545千円	26,545千円	26,545千円
	臨時職員	千円	千円	千円	千円	千円	千円
退職給与引当金		3,693千円	3,516千円	3,281千円	3,554千円	3,554千円	3,554千円
トータルコスト		57,553千円	54,767千円	55,888千円	65,174千円	60,095千円	60,190千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	a	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]		・補修要望に対する対応率は98%であり、達成度は非常に高い。今後も安全に通行できる道路を維持するため、達成度は最低95%以上を目指して行く。
	施策成果向上の可能性	a	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]		・道路及び河川等の改良整備と連携することにより、更なる成果向上が可能となる。また、道路及び橋梁の定期点検及び補修を実施することにより、インフラの長寿命化が図られ予算の歳出を軽減できる。
	貢献度	b	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]		・道路及び河川等の改良整備と連携し実施することにより、効率化や経費が縮減され対応率が高まり貢献度は高くなる。	

5. 施策の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路愛護会会員の高齢化が進んでおり、今後さらに高齢化するため、各愛護会における現在の維持管理作業でも大変厳しい状況となって行く。</li> <li>・大規模開発により碎石及び山砂を搬出する業者が増加しているため、道路の不法使用等のパトロールも必要となってきている。</li> <li>・耐震診断の対象橋梁も211橋と多く、その結果により補修・修繕に対する対応を検討しなければならない。</li> </ul>
----	---

6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の維持管理を積極的に実施する。</li> <li>・道路愛護会の組織体制の再検討を実施する。</li> </ul>
------	------------------------	---------	---

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。  
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。